株式会社 ビバ沢渡 代表 岸本 憲明さん

●出身地を教えてください。高知県高知市出身です。

●現在行っている事業、活動を教えてくださ い

祖父の後を継いで仁淀川町沢渡地区でお茶の生産加工販売をしています。

●どのようなきっかけで事業、活動を始められましたか。

幼い時から茶摘みの手伝いや地元で行われている秋葉祭りに参加していた事もあり、 思い出の詰まった沢渡の茶産業や伝統文化 を継承したいと思いました。

●高知商業、城西館さんとのコラボレーション について、経緯や想いを聞かせてください。

高知商業の生徒さんが高知の地域食材を使った商品開発を城西館の物販事業部さんに相談しに行ったのがきっかけで、商品開発に対する熱意と、自分も高知商業の卒業生と

いう事もあり、「グローカルバウムクーヘン」 の開発に参加させて頂きました。

●仁淀川町の良さ、魅力は何だと思いますか。豊かな自然や仁淀ブルーなどの観光資源

●今後チャレンジしていきたいことはありますか?

沢渡茶を使用した加工品開発で付加価値 をつけて、茶産業を今まで以上に盛り上げて いきたいです。



が豊富な所でしょうか。

お茶の魅力を広めよ うと活動されている岸 本さん。

岸本さんのお茶を楽しむことができるカフェを中面に掲載しています。

要Checkです!!

てきった

高知NPO活動応援紙

地域 × NPO

わかもの

2020.Summer vol.125

CONTENTS

てをひなGo

発行·

編集:

: 高知県ボランティア・NPOセンター

自然楽

Awesome NPO 仁淀川町の注目プロジェクト

Naba farm 仁淀 池川ベース

茶農家の店あすなろ ムカイクラフトブルーイング

Next generation 株式会社ビバ沢渡 岸本憲明さん







茶農家の店あすなろ

CHA CAFE ASUNARO

高知市内から車で約100分。国 道33号線沿いの壮大な仁淀川の 景色を背景にたたずむのは「茶 農家の店あすなろ」。

後継者不足から地域から衰退しかけているお茶を"沢渡茶"と名付け、飲むだけではないお茶の魅力を知り、楽しんでもらいたい、町に足を運んでもらいたいとの思いからできたお店です。

元々はイベント販売のみを行っていましたが、実際にお茶がとれる場所でお茶の楽しさと文化に触れてもらいたいと、現在の店舗ができあがりました。

お茶の香りに包まれながらゆったりと流れる時間。家族や友だちと囲む美味しいごはんにスイーツ。過疎化や廃校などからさみしさを抱えていた仁淀川町の住民さんも「またココでゆっくりできるなんて」と喜ぶ、地域の居場所になっています。

川の美しさや山の壮大さを感じながら、現代風にアレンジされたお茶を楽しむ"仁淀川町の美味しいゆったり時間"を過ごしてみてはいかがでしょうか。



沢渡茶や山菜など仁淀川町の 美味しい食材がふんだんに盛り込まれた "あすなろ御膳"。 テラス席から見える仁淀川の景色も

絶景です!



店長 **戸本美住さん** 「お茶を楽しんでもらうだけ

「お余を楽しんでもらつだけではなく、社会貢献にチャレンジできる店でありたい!」と 力強く語ってくれました。



高知県吾川郡仁淀川町鷲ノ巣224-6 TEL 0889-36-0188

●営業時間 / 10:00~16:00 (LO 15:30) ※木曜日、年末年始定休

ムカイクラフトブルーイング

仁淀ブルーの絶景を拝むこと

ができる中津渓谷の更に上流。 集落活動センター"山村自然楽校 しもなの郷"の向かいに見える一 軒の建物。こちらは今夏完成予定 の"Blue Brew"タップルーム&醸造 所です。



現在準備中の機材。地元のお父さんたちは「ビールはできたかえ~?」と完成を待ちわびています。

クラフトビールの本場アメリカ仕込みの"本物のクラフトビールを仁淀川町で!"と準備をすすめているのは、ムカイクラフトブルーイング代表の向井正子さんと旦那さんのケネス ムカイさんご夫妻。 仁淀川のキレイな水や、お知り合いからの土地の紹介など様々な条件が重なり、この場所での準備が始まりました。

MUKAI CRAFT BREWING

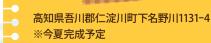
タップルームでは、旦那さんの作る多種多様な クラフトビールに加え、地元のお母さんたちが 作ったおつまみを味わうこともできます。アメリカ から輸入したゲームを楽しみながら家族や友人と

一杯。そんな楽しみ方も! 観光客を呼び込むことで町の活性化につなげる。そんな思いを持ち、好きな仕事をしながら町の役に立つ。 仁淀川町の奥地にはステキな生き方がありました。

お昼の暖かい時間は、仁淀ブルーを存分に味わったり、集落活動センターで用意されているピザやこんにゃく作りなどの体験を、そして夜になればお待ちかねのクラフトビール。気の合う仲間とワイワイと楽しんだ後はしもなの郷で宿泊。1日を通して日常から離れた非現実を味わうことの出来る"仁淀川町の楽しいゆったり時間"、おススメです!



美しい自然を眺めながら、 向井さんお手製のベンチで一杯。 仁淀川町ならではの楽しみ方です!



******* つながる、ひろがる 仁淀の輪!

"奇跡の清流 仁淀川"の美しい仁淀ブルーで有名な仁淀川町は、山と川に囲まれた大自然が魅力のひとつ。 そんな大自然にも負けず劣らず美しい、人と人の縁がつなげる"地域の輪"をご覧ください!





います。提供されている原木椎茸もNaba farmお手製! 別枝地区の美味 しい魅力がたくさん詰まったイベントになっています。 代表の大石さんは「普段人が少ない場所にたくさんの人が来てくれて活

気にあふれている。イベント外のときでも家族連れで遊びに来てくれるようになった」と口コミや縁でひろがった輪に喜びを感じています。

Naba farm 仁淀では、年に3回、それぞれ「春の陣」「夏の陣」「秋の陣」

と銘打ったイベントが行われています。「春の陣」では、別枝地区でとれた

山菜料理、「夏の陣」ではアメゴのつかみ取り、「秋の陣」では季節のお鍋

などなど、地域でとれたものを中心に地元のお母さんたちが腕を振るって

(左) アメゴのつかみ取り 子どもたちに大人気のアメゴのつか み取り。ある程度時間が経つと大人 たちも入り乱れて、大盛り上がり!!

(右)スイカ割り

夏と言えば!大きなスイカを前に子ど もたちの笑い声が響きます。





Naba [なば] 「キノコ」の意味の九州・中国・ 四国地方の方言。



メンバーが集まっての勉強会

段 メンバーの想い

「何もないところが良い」メンバーの皆さんが口をそろえて言います。何もないのだけれど、伝統・文化・自然・人間味があり、いたるところに魅力があふれている。そんな別枝地区ならではの雰囲気を肌で感じてもらいたい、知ってもらいたい、といった地域への熱い想いがあります。

「また来るき」「美味しかったありがとう」の感謝の言葉や、地域に響く子どもたちの笑い声がなによりメンバーの皆さんの活力となっています。



寺フォトウェディング

団体設立前から地域で活動をしていた縁から、 お寺で結婚式をしたいという相談が…。一生の思い 出に残るようにと、サプライズでフォトウェディング の準備を!

お二人を祝うような、素晴らしい晴天と仁淀川の 蒼さ。池川地区で長く暮らすお母さんにも「こんな にキレイに見える日は初めて!」と言わしめるほど。

地域で暮らす人 の節目を祝うこ とができる場所 として大活躍の1 日でした!



地域の拠点

地域で暮らす人の居場所であろうと様々な活動を企画する池川ベース。お寺という場所もあってか、代表の渡邊さんのもとにはたくさんの困りごとがやってきます。

「電球を変えて欲しい」「移住するのに住むところを探している」 などなど。

そんな地域にある何気ない困りごとを、日ごろの活動で培ったたくさんのつながりを活かして仲介し、解決していきま

す。池川ベースを中心に、地域にある"得意と苦手"の橋渡し、"若い力とお年寄り" の架け橋の場となっています。

寺カフェ



人とつながることのできる場所。そんな空間を作ろうと模索するなかで始めたのが不定期に開催される"寺カフェ"。地域の中に人が集まってゆっくりできる場所が少ない…。ならばお寺があるじゃないか!コーヒーやお菓子を通じて地域で暮らす人たちがつながるきっかけになればとの思いが込められています。

コーヒーやお菓子の提供をしてくれるの はメンバーの奥野さん。知らない人同士が お互いに興味を持ちはじめる瞬間や、地域 のお母さんたちの女子会の風景。お寺に集 まるだけでも人がつながっていくことを実 感していると語ってくれました。 昨年11月の設立から、本格活動に向け準備を進めていましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、なかなか活動できない日々が続いていました。

"お寺に人が集まる"環境づくりを目指して始まっ

た活動ですが、人が集まることが難しい今だからこそできることを考えながら、柔軟に形を変え活動していきたいです。遠方に住む家族とのオンライン通話の手伝いなど、人が

集まらなくてもできることにも取り組んでいます。

代表の渡邊さん